



平成28年4月26日

各 位

会 社 名 日立造船株式会社
代 表 者 名 取締役社長兼CEO 谷 所 敬
(コード番号 7004 東証第1部)
問 合 せ 先 総務・人事部長 森 本 勝 一
TEL (06) 6569-0013

貸倒損失の計上および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期決算において、貸倒損失および特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 貸倒損失の計上（個別決算）

中東などで水処理事業を展開する当社連結子会社の Cumberland International LLC において、デット・エクイティ・スワップによる資本増強を実施する際、当社の同社への貸付金について、同社の純資産の状況等に基づき時価評価した結果、評価損が生じたため、評価前の貸付金の帳簿価額との差額15億円を貸倒損失として、当社平成28年3月期決算において、営業外費用に計上する予定であります。

なお、当該貸倒損失は、既に連結損益に反映されているため、連結損益に与える影響はありません。

2. 特別損失の計上

(1) 関係会社出資金等評価損（個別決算）

関係会社出資金および関係会社株式のうち、実質価額が取得原価より著しく下落しており、回復の見込みがあると認められないものについて、減損処理を実施することとし、当社平成28年3月期決算において、関係会社出資金等評価損39億円を特別損失に計上する予定であります。

なお、当該評価損は、個別財務諸表のみで計上され、連結決算においては消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

(2) 減損損失（連結決算）

上記(1)記載のうち、連結子会社である Cumberland International LLC の超過収益力が認められなくなったことから、連結決算上、同社に係るのれんを減損する必要が生じたため、減損損失17億円を平成28年3月期決算において、特別損失に計上する予定であります。

3. 今後の見通し

平成28年3月期の業績見通しについては、平成27年10月30日の決算発表時に公表した平成28年3月期通期業績予想（連結）から変更はありません。

以 上